

KDbarcode_ITF

Microsoft WORD/EXCEL のアドイン製品

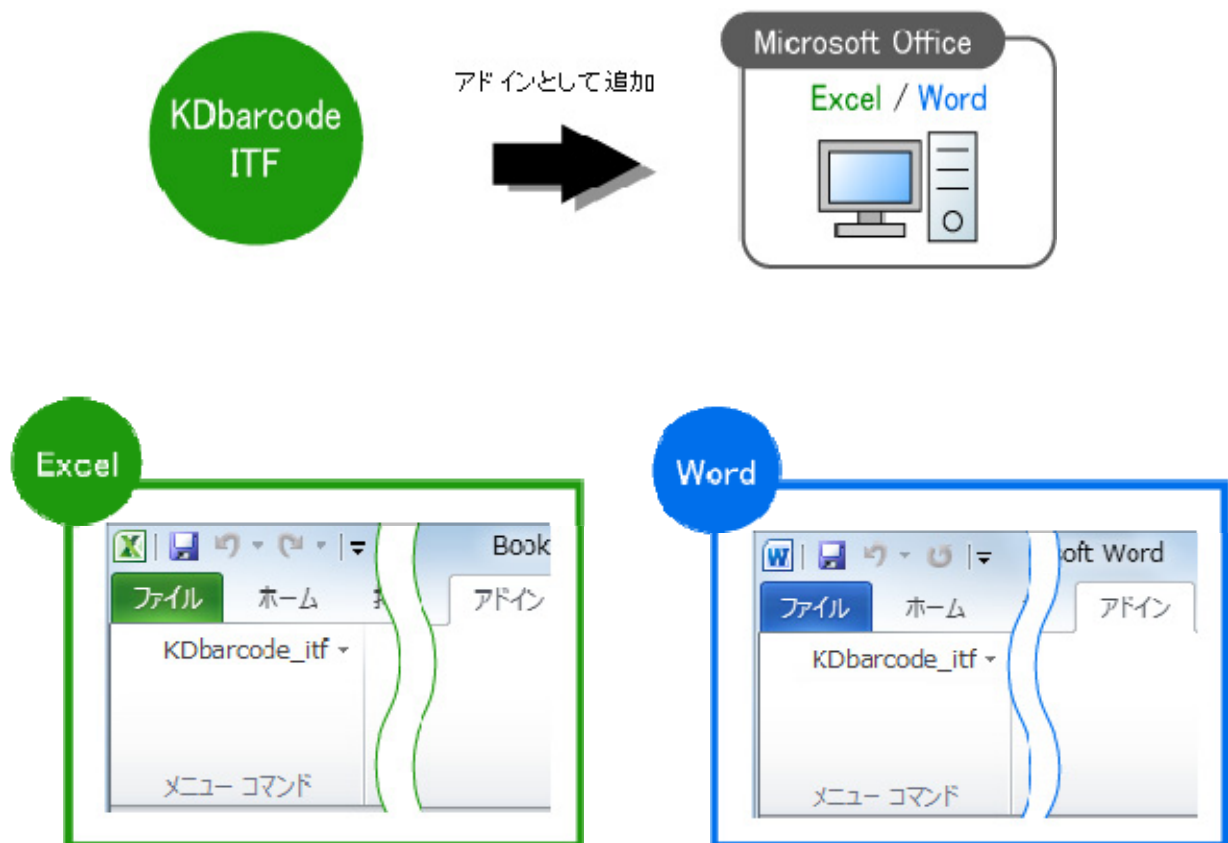


Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル 6F
TEL：045-442-0500 FAX：045-442-0501
URL：<http://www.kernelcomputer.co.jp>

処理概要

KDbarcode_ITF は Microsoft WORD/EXCEL のアドイン機能を使用してバーコード (ITF) をページまたはセルに貼り付けます。
バーコードデータは Microsoft WORD/EXCEL の任意の位置に記述されている文字列か選択したセルに記述されている文字列や設定ダイアログに記述されている文字列になります。
貼り付けられるバーコードはイメージデータとなっています。

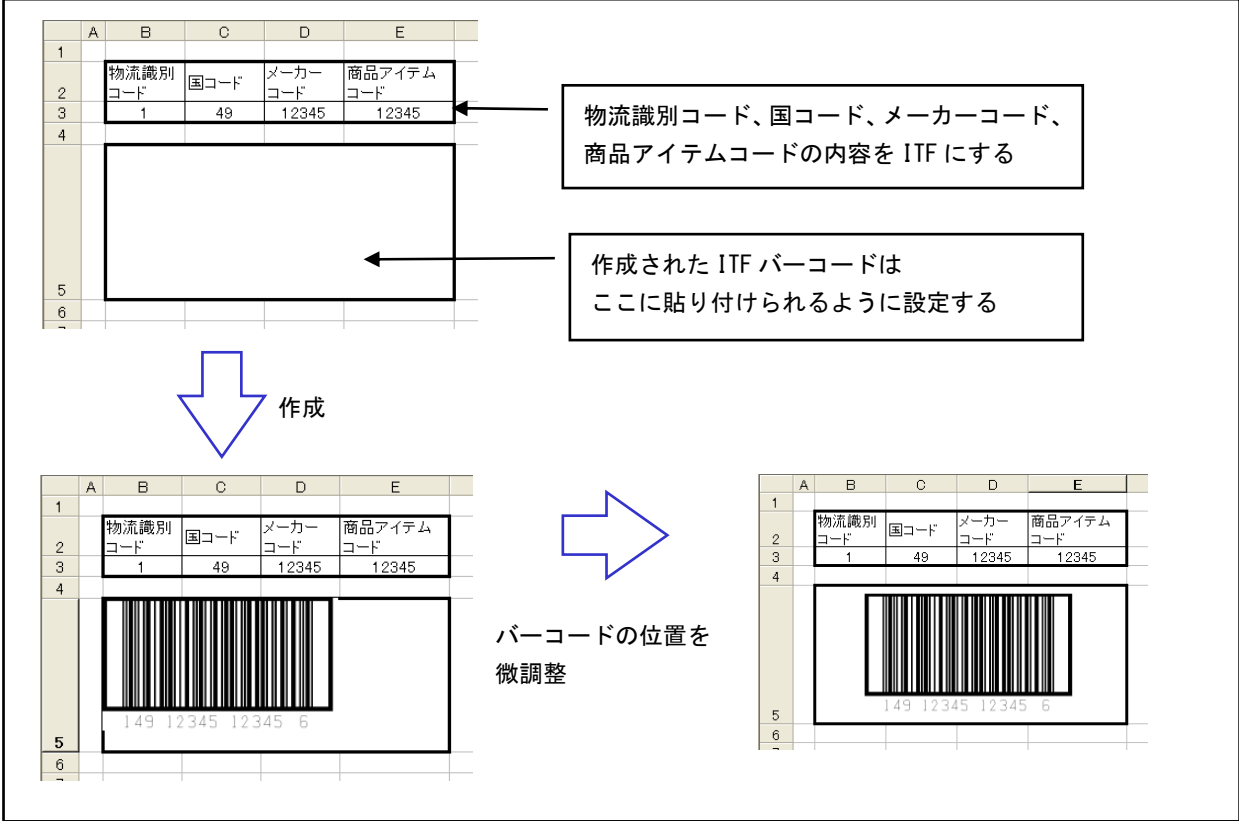


出力可能なバーコードの種類

各バーコードはそれぞれのバーコードの仕様に準拠します。

バーコードの種類	対応バーコードの名称	備考
ITF	ITF-14 (標準バージョン)	13 文字
ITF	ITF-16 (拡張バージョン)	15 文字
ITF	ITF-6 (アドオンバージョン)	5 文字

操作例 ITF



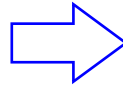
バーコード取得方法

＜カーソルのあるセルから取得する＞

選択されているセルにある文字列をバーコードデータとして使用します。
 Ctrl キーを押しながらセルを選択することにより、複数のセルを選択することが可能です。
 複数選択された場合は、選択されたセルの順番でデータを連結したものをバーコードデータとして使用します。

	A	B	C	D	E
1					
2		物流識別コード	国コード	メーカーコード	商品アイテムコード
3		1	49	12345	12345
4					

バーコードの作成



	A	B	C	D	E	F
1		物流識別コード	国コード	メーカーコード	商品アイテムコード	
2		1	49	12345	12345	
3						
4						
5						
6						

＜指定セルから取得する＞

指定されたセルにある文字列をバーコードデータとして使用します。

＜指定方法＞

入力は列行の英数字で指定して下さい。

例：列「B」、行「22」を指定する場合は「B22」と入力して下さい。

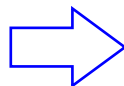
＜複数指定の場合＞

複数指定した場合は、指定したセルの順番でデータを連結したものをバーコードデータとして使用します。

例：列「B」、行「10」と列「A」、行「21」を指定する場合は「B10, A21」と入力して下さい。

	A	B
1		
2	項目番号	バーコード
3	1	12345
4	2	1234567890123
5		

バーコードの作成



セル「B3」を指定します。

	A	B
1		
2	項目番号	バーコード
3	1	12345
4	2	1234567890123
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		

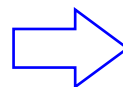
＜テキストボックスから取得する＞

バーコードデータを EXCEL のセルやテキストファイルからではなく、テキストボックスから取得します。

テキストボックスから取得

1234567890123

バーコードの作成



	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7		123	45678 90123 1
8			

＜項目ダイアログから取得する＞

バーコードを構成する項目毎にセルを指定することが可能になります。
項目ひとつにつきセルをひとつ指定することができます。
複数のセルを指定することはできませんので、指定されたセルに必ず項目の内容が入力されている必要があります。

＜使用可能なバーコード＞

- ・ ITF

	A	B	C	D	E
1					
2		物流識別コード	国コード	メーカーコード	商品アイテムコード
3		1	49	12345	56789
4		2	49	12346	56790
5		3	49	12347	56791
6		4	45	56788	12345
7					

・項目ダイアログから取得

ITFの設定

物流識別コード

国コード

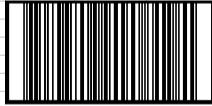
メーカーコード

商品アイテムコード

アドオンバージョン

バーコードの作成

	A	B	C	D	E
1					
2		物流識別コード	国コード	メーカーコード	商品アイテムコード
3		1	49	12345	56789
4		2	49	12346	56790
5		3	49	12347	56791
6		4	45	56788	12345
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					



349 12347 56791 7

バーコードサンプル

- ・ 出力可能なバーコードの種類は次の通りです。

ITF (標準(14桁)、拡張(16桁)、アドオンバージョン)



- ・ バーコードデータは Microsoft WORD/EXCEL の任意の位置に記述されている文字列を指定します。
- ・ EXCEL 用の場合は複数のセルからデータを集めて、そのデータをバーコードにすることが可能です。
- ・ バーコードの幅、高さ、最も細いバー幅を設定することでバーコードのサイズを調整することが可能です。
- ・ バーコードの向き (0度, 90度, 180度, 270度) を指定することが可能です。
- ・ バーコードの解像度を上げることによって精度を上げることが可能です。
- ・ EXCEL 用の場合は複数のシートを一度にまとめて処理することが可能です。
- ・ 貼り付けられたバーコードを別の場所に移動する場合に、再度バーコードを作成する必要がありません。貼り付けられたバーコードをマウスでクリックしたまま移動することが可能です。
- ・ バーコードを構成する項目 (物流識別コード、国コード、メーカーコード、商品アイテムコード) 毎に、データを指定することが可能です。

注意事項

- (1) バーコードのサイズが小さすぎると読み取れない場合があります。
- (2) 印刷時には印刷プリンタの解像度、色の濃度により読み取れない場合があります。
- (3) バーコードの種類が「ITF」の場合はデータの文字数が決められています。
ITF -14 (標準バージョン) 13 文字
ITF -16 (拡張バージョン) 15 文字
ITF -6 (アドオンバージョン) 5 文字
上記以外の文字数を使用すると「ERROR: illegal data」が表示されます。



※複数のセルを選択した場合は、選択したセルのデータを合計した文字数が対象となります。

- (4) バーコードで使えない文字を指定した場合は「ERROR: illegal data」が表示されます。



- (5) EXCEL 用で複数セルを選択する場合は、Ctrl キーを押した状態でひとつずつセルを選択して下さい。Shift キーを押しての複数選択やマウスの左ボタンをクリックした状態でマウスを移動しての複数選択には対応していません。

対応 OS

- ・ Windows XP
- ・ Windows Server 2003
- ・ Windows Vista
- ・ Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2
- ・ Windows 7
- ・ Windows 8 / Windows 8.1
- ・ Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2
- ・ Windows 10
- ・ Windows Server 2016

動作環境

Microsoft Office 対応バージョン (※32 ビット版のみ)

- ・ Office 2000
- ・ Office XP
- ・ Office 2003
- ・ Office 2007
- ・ Office 2010
- ・ Office 2013
- ・ Office 2016

標準価格

KDbarcode_ITF (バーコード作成)

ライセンス数	価格(税抜き)
1	2.5 万円
5	8 万円
10	13 万円
20	24 万円
30	30 万円
50	40 万円
100	60 万円